

# The fas

67

公益社団法人  
福岡県美術協会会報誌[fas]

7.15 summer 2024

〒810-0001福岡市中央区天神5丁目2-1  
公益社団法人 福岡県美術協会(福岡県立美術館内)  
tel:092-713-4200 fax:092-791-1472  
E-mail: fasartseven@wing.ocn.ne.jp  
<https://fukuoka-ken-art-society.com/>  
X(旧Twitter) @fasartseven

去る2月18日、福岡県立美術館4階の視聴覚室にて催された。座談会のメンバーは、福岡県美術協会の日本画の古野靖弘、洋画の宇田川宣人、田浦哲也、彫刻の小田部黄太、工芸の釜我敏子、太田秀隆、書の鐘ヶ江勢一、写真の榎晃弘、デザインの山田彰、美術館からは魚里洋一前副館長ら10名が参加した。

## 福岡県美術協会 創立80周年記念 座談会レポート



魚里洋一 前副館長



古野靖弘 名誉会員



宇田川宣人 理事



小田部黄太 理事長



榎晃弘 名誉会員



鐘ヶ江勢一 副理事長

対談の皮切は、協会の前身となる筑前美術協会へと遡る起源を宇田川先生と魚里前副館長が時代を追いつつ美術協会と県展の歴史を紹介。続いて古野先生が、協会に加わる経緯と県文化会館設立から1970年代当時を語った。また榎先生は番組制作から装飾古墳が作品のモチーフになった事や、鐘ヶ江副理事長は高校生のやる気を引き出す為の県展応募等の話をまじえて、作品制作と県展、美術協会への関わりを回想する話が興味深い。

太田先生の粘土へのこだわりやアートとクラフトの違いの中で搖らぐ制作の話は、他の部門にも通じる技法や表現の話として深い。多样性(間口の広い)のある偏りのない審査など、作品の変化などを示唆に富んでいたのが良かったと語る。

釜我先生の強く審査に誠実さを求める毅然とした言葉選びには、伝統を意識しつつも造形を志した苦労と氣概を感じた。

また、宇田川先生の福岡における美術の状況と時代背景、協会との関係を語って頂けたのはとても面白く、文化会館から県立美術館への移行と言う以後の多様化の時代へと繋がる話を聞く事ができた。



司会  
津田三朗 広報委員長



釜我敏子 名誉会員



太田秀隆 名誉会員



山田彰 元理事



田浦哲也 特任事務局員



このQRより座談会動画(約16分)がご覧頂けます。

2024

小田部理事長からは社団法人へと至る協会の筋道と、当時の協会の執行部のあり方など語られ、会員から寄せられた県文化会館の思い出は、魚里前副館長の県立美術館へ改修移行当時の新任学芸員時代の思い出と重なり、当時の県展の回録制作や展示設営の熱気を感じる事ができた。

山田先生は、後発であったデザイン部門の初期の県展デザイン部の状況が語られた。

田浦先生からは、文化会館、県立美術館へのリスクベクトルと高校生時代の県展出品逸話から、大らかな精神性というか、九州派、福岡のローカリズムと中央に反発する風土を感じる。古野先生の、作品を通して繋がる作家と同士がつくる場の話や、小田部理事長の父、当時の小田部泰久理事長の反骨の逸話は、後の審査の多様性と各個人の資質と意識の啓蒙へ繋がり、これから協会の目的と使命を考え続ける事が重要さが対談の結びとなつた。

(広報委員長 津田三朗)

「1964—記憶と記録の齡」 広報委員長 津田 三朗（彫刻部）

広報委員長 津田 三朗 (彫刻部)

一冊の展覧会図録がある

1964年 福岡県文化会館誕生

1964年福岡県文化会館誕生  
福岡県立美術館の前身である福岡県文化会館は、戦後の経済成長期、公共の美術館や博物館等の文化施設建設の気運を受け、公募制となり出品数が増加した県展に対応する県美術協会、県立図書館協議会や各文化団体の夢でもあつた。

1962年須崎公園一帯を公会堂兼音楽堂、図書館と美術館を含める文化センターとする構想が示され、

館が福岡県文化の象徴として誕生した。開館記念展は、「福岡県在住美術家自選展」「ユネスコ国際交流学校美術展」「桃山絵画展」。まさに、当時の福岡を担う美術、未来へと続く世代と桃山の歴史の美の展示だった。

翌年には、これまで県外か岩田屋など  
のデパートでしか見ることができなか  
つた全国巡回クラスの大型展「ゾタ  
ンカーメン展」を開催。主催展は、「宗  
達光琳派名作展」等の日本美術を。  
の後は九州、福岡に焦点を当てた地域  
の仏教美術、伝統工芸や知られざる作  
家、作品の発掘を始めとして、福岡で  
住作家によるレクチャーや、美術評論家  
や大学教授の講演、視聴覚ライブラリー  
を利用した学びの場も多く催された。  
美術館となつた今でも、広く県民に美  
術に触れる機会を提供し続けている。

東京2020オリンピックを記念した本展示は、コロナ禍のためオンラインピックと同じく1年の延期を経て開幕。注目を集めながらも、福岡コロナ特別警



1964—福岡県文化会館、誕生。」展  
を紹介する動画 URL  
(福岡県立美術館チャンネルより)



福岡県文化会館全量（文化会館パンフレットより）

報、緊急事態宣言に伴い2週間で閉幕した。

多くの観覧は叶わなかつたが、1964年東京オリンピックと文化会館の開館を振り返る展示は、当時の時代背景を含め、資料と作品を通して「記憶」と「記録」、「今まで積み重ねてきたもの」がいかに貴重で、かけがえないものであるかを問いかけている。そして、本展が「新福岡県立美術館」に向けて、種まき前の土起こしとなれば幸いである。」と図録の巻末を結んでいる。

「1964年福岡県文化会館開館から  
1985年福岡県立美術館に改装、会館され  
て現在までの60年間」会員各位の心にのこる  
一葉の思い出を前号発行時に、募らせていました  
だきました。誌面の都合上、今号では5名の方  
のご寄稿の掲載となります。また続きは掲載の  
機会待ちです。ご理解ご協力に感謝いたします

べるようになつてゐるが、まずは当日の展覧会をゆっくり鑑賞することから始め、好きな絵の前では釘付けになる。ツタンカーメン展は、私が二十歳の時に見に行つた。自分にとっては全てが特別授業のようなものだつた。福岡県立美術館の建物は高くそびえていて、須崎公園の南国風の樹木の葉が風で大きく扇形を描いてゆらいでいる姿と60年経つた今ふきぎと似合つてゐる。（洋画部・梶原房枝）

で通っていた中で、貴館の猿渡普及課長や角里学芸員のご尽力により、1987年に続き1989年の2度にわたり春の院展が開催され、福岡三越で開催される春の院展の礎となりました。福岡で日本画を実際に観る機会を広げて頂いたことが、日本画を志す方や愛好される方が確実に増えたことを実感させて頂きました。これから県立美術館を益々楽しみにさせて頂きます。（日本画部・稻賀頼み）

まで唐人町に住んでいたが、被災しその市営

県文化会館が60年前昭和39年に開館した時の記憶は鮮明に残っている。伝習館3年の私は佐賀大の特設美術科受験の為、毎日のように美術室で石膏デッサンに励んでいた。翌年4月から美術を学ぶ学生として印象派展等や団体展を県美で鑑賞する嬉しさと、西鉄大牟田線で天神に出かけるのも楽しみであった。大学卒業の年、県の教員採用試験に合格していたが、九産大に芸術学部が新設され九産大に赴任する道を選択した。県美で様々な展覧会を開催させて頂き又県展洋画部委員として今日まで大変お世話になつてゐる。

(洋画部・光行洋子)

（洋画部・大森和雄）  
薄暗い外の階段を上つて行き、扉を開けると、2階は明るい広いロビーが広がっている。中に入ると、美術全般が学術館の入図だ。

初めて県立美術館を訪れたのは、小学生低学年ころで、美術好きの両親に連れられ、初めに「古代エジプト展」への来場と記憶しております。長蛇の列、いつまでも入館できない程の大盛況で、子供心に「早く終われば良いのに」と思った記憶があります。その後エジプト文明に興味を持ち、過去に作品でも砂漠をイメージした木彫作品も作製しました。現在でもYouTubeでエジプト考古学チャンネルを拝見するあたり、私の中で当時の衝撃がきつかけになってしまっていると思われます。

# 新福岡県立美術館のご紹介



## 新県立美術館について

福岡県 新県立美術館建設室

新県立美術館の基本設計がまとまりましたので会員の皆様にご紹介致します。「公園と一緒にされた美術館」等の「基本計画」に掲げるコンセプト具体化とワンヘルス推進を設計方針として取り組んでいます。

左上図は大濠公園側から見た建物北面の外観です。大濠公園と、敷地の一部となる大濠公園日本庭園との調和を意識した、軒の深い屋根庇の水平線が特徴です。多くの方に訪れていただけのよう、大濠公園からはもちろんのこと敷地南側の国体道路からもアクセスしやすい「アーバンスリット」と呼ぶ通り抜け空間を計画しています。このアーバンスリットを入ってすぐ、建物の中心には各展示室とつながった「メディアアヴィオード」と呼ぶ吹抜空間(左下図)がお迎えてくれます。

建物規模は地下1階地上4階建、延べ面積約20,900m<sup>2</sup>です。展示室はコレクション展示室3室、特別展示室3室を主に2階に配置しています。特別展示室1は天井高さが10mほどあり大型立体作品の展示も可能です。県民ギャラリーは1階南側の国体道路に面して4室ございます(左中図1階中央)。

この基本設計と今後のスケ

ジュール等については、県のホームページや情報発信サイト「新福岡県立美術館が大濠公園で生きるまで」に掲載していますので、詳しくはそちらをご覧になつていただけますと幸いです。

訪れた方にくつろいでいただける空間として、レストランを1階に、眺めの良いライブラリー・カフェや屋上広場を3階に計画しています。

10月12日(土)より、福岡県立美術館にて企画展「久留米紺と松枝家」を開催します。

今回の展覧会は、数え年で玉記が生誕120年を迎える記念展であり、病のため令和2年(2020)に急逝した哲哉の遺作展でもあります。松枝家の久留米紺の歴史から久留米紺、もっと広く工芸の「これまで」と「これから」を考えようという展覧会です。

松枝家は明治初頭、西南戦争の頃に紺業を始めました。松枝家代々の歴史と作品を追っていくと、久留米紺の歴史が見えてきます。今回の展示では、松枝家が紺業を始めた初期

## 「久留米紺と松枝家」

10月12日(土)～12月1日(日)  
前後期展示替えあり 4階展示室  
福岡県立美術館



本年4月1日付で館長に着任いたしました。よろしくお願いいたします。福岡県美術協会におかれましては、創立以来84年の長きにわたり、本県の芸術文化の普及・振興に多大なる御貢献を賜り、深く感謝申し上げます。特に、当館との共催事業である「県展」は、県民の創造意欲向上と、美術を通した豊かな生き方の支援を趣旨とする全国有数の公募展でござります。本年、第79回という歴史を刻む

福岡県立美術館  
館長 富松 文夫

ひとがでありますのも福岡県美術協会の多大なる御貢献があつての賜物であるものと考えております。

さて、新型コロナウイルス感染症による社会への影響も徐々に落ち着きを見せており、当館の運営上の制約もなくなつて参りました。

当館としましては、このような社会状況の変化を的確に捉えながら、今後とも職員一丸となって真摯に館の運営に取り組んで参る所存でございます。最後に福岡県美術協会の益々の御発展と会員の皆様方の益々の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。



総務課長 畑山 智

本年4月1日付で普及課長から総務課長に異動となりました。様々な課題がございまが、美術協会の皆様方と連携を図りながら解決に向けて努力して参りました

いと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

館長に就任しました。よろしくお願ひします。

福岡県立美術館  
新課長 畑山 智

## 祝 500号記念誌発刊

### 書道研究誌 玄海

発行所 北九州書道協会 (古野雅堂方)

〒807-0054 遠賀郡水巻町二東2-7-10  
TEL : FAX 093-201-2495

## 入門から翻訳・通訳まで中国語教育のパイオニア

### 福岡漢語学院

〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-15-303  
092-522-9587 090-1197-9045 (李)



# 令和6年度 公益社団法人 福岡県美術協会定時総会報告

令和6年6月23日(日) ■ 14:00-15:45  
八仙閣本店 (福岡市博多区)



6月23日(日) 梅雨空の下、この3月に3年遅れの協会創立80周年記念祝賀会を開催した八仙閣本店定時総会が開催された。正会員総数760名に対し、出席者178名、委任状参加者125名、議決権行使による参加者が269名で、正会員総数の過半数となる合計572名の出席を得て、定款第18条第1項の定足数を満たし総会は成立。午後2時、倉橋専務理事の開会宣言により定刻に開会。村里豊伸事務局長の司会、嘉村知久事務局参事のアナウンス補助、洋画部田浦哲也特任事務局員及び野出眞子会員、並びに写真部小林敏夫特任事務局員の運営補助により総会は進められた。

冒頭、昨年度逝去された会員が11名であった旨の報告がなされ、哀悼の意を込めて黙祷が行われた。小田部黄太理事長の挨拶では、協会創立80周年記念祝賀会開催の報告、Aーに対する美術協会の取り組み姿勢等が述べられた。

続いて来賓及び協会顧問の紹介。

代表して、豊村謙治福岡県教育庁教育振興部社会教育課課長、富松文夫福岡県立美術館館長、松尾新吾九州電力株式会社特別顧問、今林久福岡県議会議員よりご祝辞を頂戴した。

議事に先立ち、議長を務める小田部理事長より、日本画部城戸久美子理事、洋画部川副了造理事に議事録署名人が委嘱され、書記は影刻部原谷明弘事務局員と書部益尾天蠍事務局員に、記録写真撮影は写真部植松佳春広報委員に委嘱された。

続いて議事に入り、下記のとおり進められた。

(1) 令和5年度事業報告及び法人管理報告  
(鐘ヶ江副理事長)

(2) 【審議事項】令和5年度決算の承認  
(西財務担当理事、筒井監査)→承認  
(鐘ヶ江副理事長、村里事務局長)

(3) 令和6年度事業計画及び収支予算  
(鐘ヶ江副理事長、村里事務局長)

報告事項として、令和5年度の退会者が逝去者以外で24名であったことが紹介された。

次に、令和6年度新会員32名が紹介され、一言ずつ抱負が述べられた。

続いて、新たに名誉会員に就任された工芸部遠藤喜代志名譽会員、及び同じく工芸部福島善三名譽会員が紹介され、就任の挨拶を述べられた。

会員在籍40年表彰では対象者6名が紹介され、理事長からの表彰状交付の後、総会出席の洋画部吉田正道会員及び工芸部筒井知徳会員から受彰の挨拶が述べられた。

会は無事終了した。

(文責・村里事務局長)



福岡県教育庁教育振興部  
社会教育課長  
**豊村 謙治**

公益社団法人福岡県美術協会におかれましては、日頃から福岡県美術展覧会をはじめ各種の展覧会の開催、県内各地における美術活動の支援などを通じて本県における文化芸術の振興に多大なる御貢献をいただき、心から感謝申し上げます。

また、会員の皆様におかれましては、平素の創作活動はもとより、会員相互の研鑽や県内外各地における普及活動などに御尽力いただいています。昨年度は、会員の紙野薫華様が長年にわたる本県の文化芸術の振興への貢献が評価され、地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞されました。本県にとりましても誠に名誉なことであり、心からお祝い申し上げますとともに、今後ますますの御活躍をお祈りいたします。

さて、本年度の福岡県美術展覧会では、若い

文化芸術は、人々の心を豊かにし、生活の質を高め、潤いと活力に満ちた社会を実現するため、欠かすことができない重要なものであり、誰もが等しく生涯を通じて文化芸術に親しみ、主体的に活動に参加できる環境づくりが求められています。

県教育委員会といたしましては、本県の文化芸術の普及と発展のため、今後とも福岡県美術協会の皆様とより一層の連携を図ってまいります。よろしくお願い申し上げます。

結びに、福岡県美術協会のさらなる御発展と会員の皆様方のますますの御活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

## 令和6年度定時総会を終えて

公益社団法人  
福岡県美術協会 理事長 小田部 黄太

令和11年開館の新県立美術館も基本設計がまとまり、いよいよ具体的になつてまいりました。

5年後の新美術館での開催に向か、県展の改革をさらに進め、より魅力的な展覧会にプラッシュ

今年度の県展につきまして、出品料の改定を行ない、一般は値上げを致しましたが、学生は据え置き、高校生は1,000円に値下げしております。また、出品資格につきましても、福岡県内の高等学校を卒業生した方は、県外からの出品を認めることといたしました。昨年からのW eb出品も含め、詳しいことは応募要項をご確認ください。

世代の活動への支援として、高校生等の出品料の見直しがなされ、また、昨年度から始まった写真部門でのウェブ出展を含め、出品しやすい環境づくりが進められていることに對しまして改めて皆様の御尽力に感謝申し上げます。これらの取組により、幅広い世代の人々の創作意欲が喚起され、県民の皆様が文化芸術に触れる機会がさらに広がっていくことを期待しております。

冒頭の挨拶や事業計画でも申し上げましたが、必ずしも県展に固執しない、若い世代を巻き込んだ取り組みを検討すべき時期でもあるのかも知れません。いずれにいたしましても、今日の普及振興」という美術協会の目的に立ち返り、私共美術協会を取り巻く環境が大きく様変わりしていく中で、協会はその目的に向けて今何を考え、何を行うべきか、大きな課題を突きつけております。会員の皆様のご意見もいたさながら、力強く取り組んでまいります。

**株式会社エターナルラボ**

個展 グループ展用 写真プリント  
額装 パネル作成等 承ります  
お気軽にご相談ください  
色にウソをつかせない！写真展・コンテストに強い！  
TEL 0940-72-4661 FAX 0940-72-4662



WE CONTRIBUTE TO SOCIETY BY ARCHITECTURE

**中村建設株式会社**

NAKAMURA CONSTRUCTION, INC.

確かな技術と 豊富な経験が 未来を創る。  
〒810-0034 福岡市中央区篠丘1-32-9 TEL 092-771-6131  
<https://www.nakacon.co.jp/>



## 写 真

福岡市城南区  
野崎 征紀

記憶に残る写真を撮りたいと思います。



## 書

北九州市小倉北区  
原田 三保子

書道文化の継承に努めています。



## 書

太宰府市  
大田 清美

一生稽古と思い楽しく頑張ります。



## 工 芸

福岡市東区  
小嶋 慎二

自分が成長する作品を作りたいと思います。

## 新会員紹介

ご入会おめでとうございます

今年度 32 名の方がご入会されました  
今後の活躍をお祈りします

## 写 真

北九州市門司区  
星原 昭一

一写入魂の気持を忘れずに活動します。



## 書

北九州市若松区  
村田 潤子

人生を豊かにしてくれた書に感謝と恩返し。



## 書

北九州市八幡西区  
大谷 聖子

書は文字でありことばこの言葉を心の糧に。



## 工 芸

福岡市西区  
小味山 絵里

心搖さぶられる花を求めて、染め続けます。



## 洋 画

宗像市  
森田 則子

楽しく絵を描けますよう努力します。



## 洋 画

糟屋郡篠栗町  
金山 波也人

若い頃から古典に憧れ今後も続けていきます。



## 日本画

小郡市  
東 さくら

誰もが楽しめる美術を目指したいです。



## 写 真

春日市  
増田 俊次

記憶と記録に残る写真を撮りたい。



## 書

太宰府市  
安恒 裕子

書を学べる事に感謝し続けて参ります。



## 書

北九州市小倉北区  
白川 あすか

一步ずつ地道な努力を続けて参ります。



## 工 芸

福岡市東区  
森山 清香

入会に感謝し楽しみ乍ら作陶して参ります。



## 工 芸

福岡市早良区  
池田 美佐子

美しさを伝えられる作品を目指します。



## 洋 画

朝倉市  
徳田 利恵子

新しい描き方を模索し追求してまいります。



## 日本画

柏原郡新宮町  
東島 敏子

日本画を描く魅力を探求してまいります。



## 写 真

北九州市小倉北区  
米子 久美子

一瞬の出会いをシャッターチャンスに。



## 書

糟屋郡新宮町  
山本 将資

国語と書の中庸を求めて参ります。



## 書

北九州市小倉北区  
塚本 律子

“継続は力なり”をモットーに地道に頑張ります。



## 書

大川市  
石橋 五月

末永く、書を楽しめたらと思っています。



## 工 芸

太宰府市  
占部 民子

閃きと凝視を大事に制作して参ります。



## 洋 画

田川郡赤村  
林 陽子

思いを込めて、大切に描いて参ります。



## 日本画

糟屋郡宇美町  
横山 佳美

地道に描き続けて成長して参ります。



## デザイン

福岡市南区  
中村 美香

新しい表現の可能性を追求してまいります。



## 写 真

北九州市小倉北区  
井上 勝子

出合を大切に健康で今後恥じない様努力します。



## 書

北九州市若松区  
中島 弘康

古筆を学び創作や料紙作りも頑張ります。



## 書

福岡市博多区  
今村 幸以

古筆を学び創作や料紙作りも頑張ります。



## 工 芸

朝倉郡東峰村  
太田 義八

伝統と流行を掛け合わせ日々作陶に励みます。



## 洋 画

嘉麻市  
松岡 修一

木版画の世界を追求、精進したい。



## 洋 画

北九州市八幡西区  
井上 貴義

感動を与えられるよう努力します。

# 第79回 福岡県美術展覧会

福岡県立美術館 普及課 岡田 理瑛

今年度、第79回福岡県美術展覧会を担当します岡田と申します。会員の皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今回の第79回は若い世代からの出品数が増えるよう、高校生等の出品料を減額するとともに、また県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部を卒業した方を応募資格・条件に追加し、県外から出品できるようにしました。関係学校を訪問しより多くの生徒や卒業生に出品してもらえるようアピールしているところです。若い世代に出品していただくことで、より幅広い世代から楽しみにもらえるような魅力ある県展にしていきたいと思っています。

皆様のご協力を願っています。



## 令和6年度 新名誉会員



遠藤 喜代志 様  
(工芸部)

東京芸大大学院を修了後、鋳金の道に邁進されて50年以上。制作の傍ら、大学等で教鞭をとられ、一方で芦屋町立芦屋金の里において芦屋金の復興を見事に成し遂げられました。

1979年福岡県美術協会に入会され鋳金の第一人者として活躍され、また後進の育成や理事や部会委員としても美術協会の運営にも大いにご尽力いただきました。名誉会員に就任いただき、今後は協会をご支援いただることになります。

四十数年前、美術協会は憧れの存在でした。並み居る先輩の方の末席に連なることができた時の喜びは今もはっきりと脳裏に浮かびます。

江藤日出男先生（名誉会員）の作品、というより人柄に吸い寄せられる様にこの世界に入ったのですが、鋳金の製作を行うには金属を溶かすための設備が必要で、そのための工房を造る為にはいろいろと法律上の規制があり、何度も断念しそうになりました。しかし、なんとか地元福岡で制作活動を行いたいと思ったのは、福岡が日本に於ける鋳金製作の原点の地（奴国）であり、この場所でこそ生み出せるものがあるのではないかと考えたからです。芦屋町からの依頼で芦屋金の復興に取り組んだのも、やはり同じ理由です。あの優美な形や文様は、中国や朝鮮半島に向き合っているこの地でこそ創り出せたと思っています。苦しい年月ではありましたが、それを支えてくれたのは、協会の先輩や友人、そして事務局の方々です。深く感謝する次第です。

# 2024 福岡県シニア美術展

シニア担当副委員長 城戸 久美子

本年度からシニア美術展は、「ふくおか芸術文化祭2024」と名称が変わりました。新型コロナウイルス感染症は、昨年5月からインフルエンザなど他の疾病と同様の対応になったこともあり、新たな名称のシニア展では、更に多く高齢者の皆様にご参加頂きたいと思います。生きがいやふれあいを提供し、芸術を身近に文化の裾野を広げるとともに、県民の芸術文化活動の推進発展に貢献したいと思います。

昨年度は、初めて全7部門作品を1期で展示開催致しました。どの展示会場も活気があり、また全作品を一度に鑑賞出来ると皆様にとても喜んで頂きました。本年度も昨年同様、全7部門1期で展示開催致します。しかし、今年は工事の関係で駐車場が半分位しか使えません。また多くの展示作品が予想されます。スマートな運営の為に様々な創意工夫をしております。

会員の皆様の一層のご協力とご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



重要無形文化財 保持者（人間国宝）の認定を平成29年に受けてからも、小石原焼をはじめ、福岡県の文化普及に努められ、福岡県美術協会に貢献していただいております。1991年に正会員として入会されて33年。これからは名誉会員としてご尽力賜ります。



福島 善三 様  
(工芸部)

名誉会員にとの報を受けて、大変有り難いことであると同時に、恐縮しております。

福岡県に在住の作家の方は、福岡県展が、公募展の出発点だという方が多いと存じます。

私も、県展に出品を始めて40年程になりますが、初入選、初入賞の時の感激を、今でもハッキリと思い出すことができます。

福岡県の文化向上に多大に寄与している福岡県美術協会に、私自身、微力ではありますが尽力していきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

# 福岡県美術協会創立80周年記念祝賀会報告

実行委員長 宇田川 宣人

令和2年に創立80周年を迎え、記念事業として「県展と歩んだ作家展」を開催し、更に令和4年には「洋画部交流展」を開催した。令和5年5月にコロナウイルス感染症が第5類に移行し対策が緩和された為、3年間遅れて令和6年3月8日に「公益社団法人福岡県美術協会創立80周年記念祝賀会」を八仙閣本店において開催した。

福岡県美術協会の会員からは、正会員、名誉会員、賛助会員、並びに顧問の松尾新吾様、今林久様等が出席した。また来賓として、服部誠太郎知事、香原勝司県議会議長、藏内勇夫県議会議員等、また、寺崎雅巳福岡県立美術館長、吉田法稔教育長、安武弘子西日本新聞イベントサービス社長等、多くの関係機関、諸団体の皆様のご臨席を賜った。出席者の合計は総勢203名で盛会裏に終了することができた。会員各位のご協力に感謝と敬意を表すものである。



## 〈贊助会員のご紹介〉

多くの企業様の御支援を  
いただいているます。

- 九州電力（株）
- （株）福岡銀行
- 西部ガスホールディングス（株）
- 西日本鉄道（株）
- （株）西日本シティ銀行
- （株）九電工
- 九州旅客鉄道株式会社

朝日自動車株式会社

株式会社 味の兵四郎

ASO ポップカルチャー専門学校

有澤ホールディングス株式会社

株式会社 岩田屋三越

株式会社 ヴォイス

株式会社 ACR

株式会社 エターナルラボ

大松 隆税理士事務所

北九州書道協会

株式会社 喜多屋

ギャラリー SEL

株式会社 久原本家グループ

健康住宅株式会社

社会福祉法人さわやか会

株式会社 サンビルテックシステム

株式会社 上海堂

祥文社印刷株式会社

株式会社 新出光

株式会社 杉田写真館

株式会社 ゼンリン

太宰府天満宮

タマホーム株式会社

株式会社 テレビ西日本

東美 福岡店

長門博之法律事務所

学校法人 中村学園

学校法人 中村産業学園

(九州産業大学・)

九州産業大学造形短期大学部

株式会社 中村美術堂

日本デザイナー学院

株式会社 博運社

筥崎宮

晩香堂

株式会社 樋口工業

福岡芸生美術会

株式会社 平助筆復古堂

墨扇堂

株式会社 みぞえ画廊

ミナミ画材

南谷総合法律事務所

株式会社 山本文房堂

文房四宝 和美創

(敬称略)

## 部会だより

### 洋画部

#### 東京芸術大学名誉教授 坂口 寛敏 美術講演会・懇親会

- 演題：「私の美術活動について」  
福岡で生まれ育ち、その後に東京やドイツで学んだこと、また、自身の制作や活動の展開を語って頂きます。併せて県展の洋画作品についての印象も触れて頂きます。
- 日時：令和6年8月7日（水）  
18:00～20:30 講演会・懇親会
- 場所：八仙閣 本店  
福岡市博多区博多駅東2-7-27  
TEL.092-411-8000
- 参加費：5,000円（懇親会費を含む）  
講演会後、同会場にて懇親会となります。  
会員外の方も参加可能ですので、お声掛けを宜しくお願い致します。  
(洋画部会委員長 宇美拓哉)

### 書部

#### 第79回県展入賞・入選者 書部会正会員合同祝賀会 および講演会

○日時：令和6年9月29日（日）

16:00～

\*県展表彰式終了後、同ホテル

○会場：福岡リーセントホテル

○会費：6,500円

○講演会：講師

早稲田大学講師

財前 謙先生

(書部会委員長 鐘ヶ江勢二)

### デザイン部

#### 「チャレンジケンテン」



デザイン部では、県展への出品促進と協会の活性化を目指し、デザイン部オリジナルのリーフレットを作成しています。

応募要項に加え、出品についてのQ&A、会員外審査員のプロフィールなどの情報をわかりやすく掲載し、デザインに興味を持ってもらうことで、より多くの人に出品していただけるように、デザイン系の教育機関（大学、短大、専門学校、高校等）等へ会員を通して配布し、県展認知と公募拡大の促進につながる資料としても活用しています。  
(デザイン部会委員長 山根修平)

## 訃報 鎌田勝美 名誉会員を偲んで 「はしご酒の鎌ちゃん」

福岡県美術協会正会員 山田 彰（デザイン部）



令和6年3月逝去  
84歳

当協会くデザイン部の立ち上げに尽力された鎌田勝美  
名譽会員が3月14日に、84歳で亡くなられた。

九州には、二つのデザイン派閥があって、一つは西島伊  
三雄さんの九州グラフィックデザイン協会で、もうひとつ  
が、二科のデザイン部だった。鎌田さんはその会員であり、  
二つが、同一のことを成すことは無かった。唯一、当協会法人化の折、協力し合  
ったのが唯一だった。1985年のその日、くデザイン部の23名の新人紹介としたの  
も記憶に新しい。鎌田さんは、当協会の贊助会員でもある、日本デザイナー学院の  
先輩講師でもあった。

彼は、長く糖尿病を患ってもいたが、元気な頃は、「はしご酒の鎌ちゃん」と言  
われるぐらいの酒好きだった。次々と呑み屋を変え、朝までつき合わされた卒業生  
もいた。でも彼は、その卒業生たちから愛されもした。今は懐かしい思い出だけだ。

謹んでお悔やみ申し上げます。

- 小野多世子さん（67歳）  
(デザイン部) 令和5年12月
- 光安 紀子さん（89歳）  
(洋画部) 令和6年2月
- 武谷 佳水さん（81歳）  
(書部) 令和6年2月
- 真田 彰さん（84歳）  
(デザイン部) 令和6年2月
- 鎌田 勝美さん（84歳）  
(デザイン部) 令和6年3月

## 令和6年度 在籍40年表彰者

公益社団法人福岡県美術協会では、40  
年間（1984年入会）にわたり、協会の  
運営に尽力した会員を表彰しました。

【洋画部】猪口 玉喜

【洋画部】吉田 正道

【工芸部】荒牧 要

【工芸部】亀井 味楽

【工芸部】筒井 知徳

【書部】加来 畔郵

# fas gallery

展覧会・出版のご案内

## 濱田隆志展

■9月9日(月) -  
9月15日(日)

■ギャラリー風

長年描いているスペイ  
ン風景を中心に、油  
彩・水彩約25点を展  
示致します。



「夏の終わりに」 濱田 隆志

## 第29回 九洋展

■9月18日(水) -

9月23日(月・振休)

■福岡市美術館

ギャラリーA室

来年120回記念展を迎  
る太平洋美術会の西日本  
支部絵画部門の小品展。県  
美会員前隈清司が出品。

(女賀 信太郎)



「記憶のかけら」 前隈 清司

## 第60回 記念游展

■9月18日(水) - 9月23日(月・振休)

■福岡市美術館

ギャラリーB室

毎年1~2回開催さ  
れてきました游展の  
60回記念展。県美会  
員前隈清司、篠原律  
子が出品します。

(女賀 信太郎)



「富士山」 前隈 清司

## 小嶋勇展 ー大地の詩ー

■10月5日(土) -

10月19日(土)

■Gallery EM  
(ギャラリーエム)

大地の詩」シリーズよりミク  
ストメディア作品新作を中心  
に25点を展示。



「EARTH 大地の詩」 小嶋 勇

## フォトニ水会 第28回 作品展

■10月8日(火) -

10月14日(月・祝)

■福岡市美術館  
ギャラリーE室

会員それぞれの個性  
を重視した作品を展  
示致します。



「空路」 乌越 英次郎

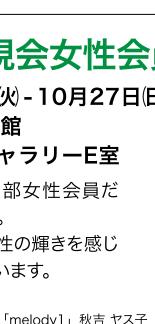
## 第33回 雲心書作展

一筆に想いをたくしてー

■10月9日(水) - 10月13日(日)

■旧古河鉱業若松ビル 2F

併催 「創玄書道会の源流」  
一日下部鳴鶴・比田井天来・金子鷗亭一



「melody」 秋吉 ヤス子

## 第10回 示現会福岡支部公募展

■10月22日(火) - 10月27日(日)

■福岡市美術館 ギャラリーA室

福岡支部による公募展です。多くの皆様のご応募をお待ち  
しています。(瀧井 利子)



第11回 総務大臣賞「古代の夢」 萩須 舟醒

## 第75回 公募西部示現会展

■11月19日(火) - 11月24日(日)

■久留米市美術館 1F

■搬入 11月15日(金)

会員の作品を始め90点  
程の展示を致します。皆  
様のご応募をお待ちし  
ております。



「ポスター・刻のライブ」 江口 登

## RO展

■11月19日(火) - 11月23日(土・祝)

■福岡県立美術館

1F展示室

壁面をお祭りの露店(RO展)  
と見立て、ジャンルの違う作家  
が自由かつ個性的な作品を  
展示します。

【主な出品者】

園 こうじろう、湯浅 亮子、  
垣外 波瑠香、佐藤 寛子 他

(園こうじろう)



「夢のなかで」 湯浅 亮子

## 写真集出版

### 「花花の森—HANABANANOMORI」

石松野草園の写真取材に同行するうちに私自身も撮影  
を始めたが、花の写真は単写真では力のある作品創りは  
なかなか難しく、いっそ「写真集を作ろう」と決めました。

花の解説は南阿蘇ビ  
ジターセンターにご  
教示いただき、写真  
集上梓が叶いました。  
定価1500円  
(井口 益次)



写真集「花花の森」 井口 益次 080-6442-1028

## 編集後記にかえて

今年3月、fas gallery でもお世話になっている  
新天町ギャラリー風の武田義明さんが、福岡  
市文化活動功労賞を受賞された。平成9年に  
ギャラリー風を開設。様々な展覧会を企画し、  
若い地元の芸術家や障がいを持つ方々のアート  
を支援されている。ギャラリー経営の傍ら美術、  
デザイン誌「ARTing」を創刊、地元作家の活  
動紹介やデザイン研究、評論の活動も続けてお  
られる。心より拍手をお送りしたい。

(広報委員会 津田三朗)

## 県議会議長室前に第78回福岡県美術 展覧会(会員の部)受賞作品を展示

県議会議長室前ロビーに第78回福岡県美術展覧会  
(会員の部)受賞作品を展示しています。展示作品  
は、倉橋協子さん「爽日」(日本画)、毛利章子さん  
「こもれび」(日本画)の2点です。



- ・ギャラリー風 tel 092-711-1510
- ・福岡市美術館 tel 092-714-6051
- ・Gallery EM tel 095-827-7602
- ・川崎町役場社会教育課内 日中交流水墨画公募展事務局 tel 0947-72-3000 (内線) 408・409

- ・旧古河鉱業若松ビル tel 093-752-3387
- ・久留米市美術館 tel 0942-39-1131
- ・福岡県立美術館 tel 092-715-3551

【広報担当理事】 ●(デザイン) 佐土嶋文香 【広報委員会】 ●委員長: (彫刻) 津田三朗

●委員:(日本画) 峰松由布子/(洋画) 大塚美和子/(工芸) 津留崎順子/(書) 古木青翰/(写真) 高良慶治・植松佳春/(デザイン) 市丸美波子